

流域治水対策の進捗状況(令和4年度)

令和5年3月2日

土岐川・庄内川流域治水協議会



みんなでまもる 土岐川・庄内川



【庄内川水系流域治水プロジェクトの進捗状況(令和4年度)】

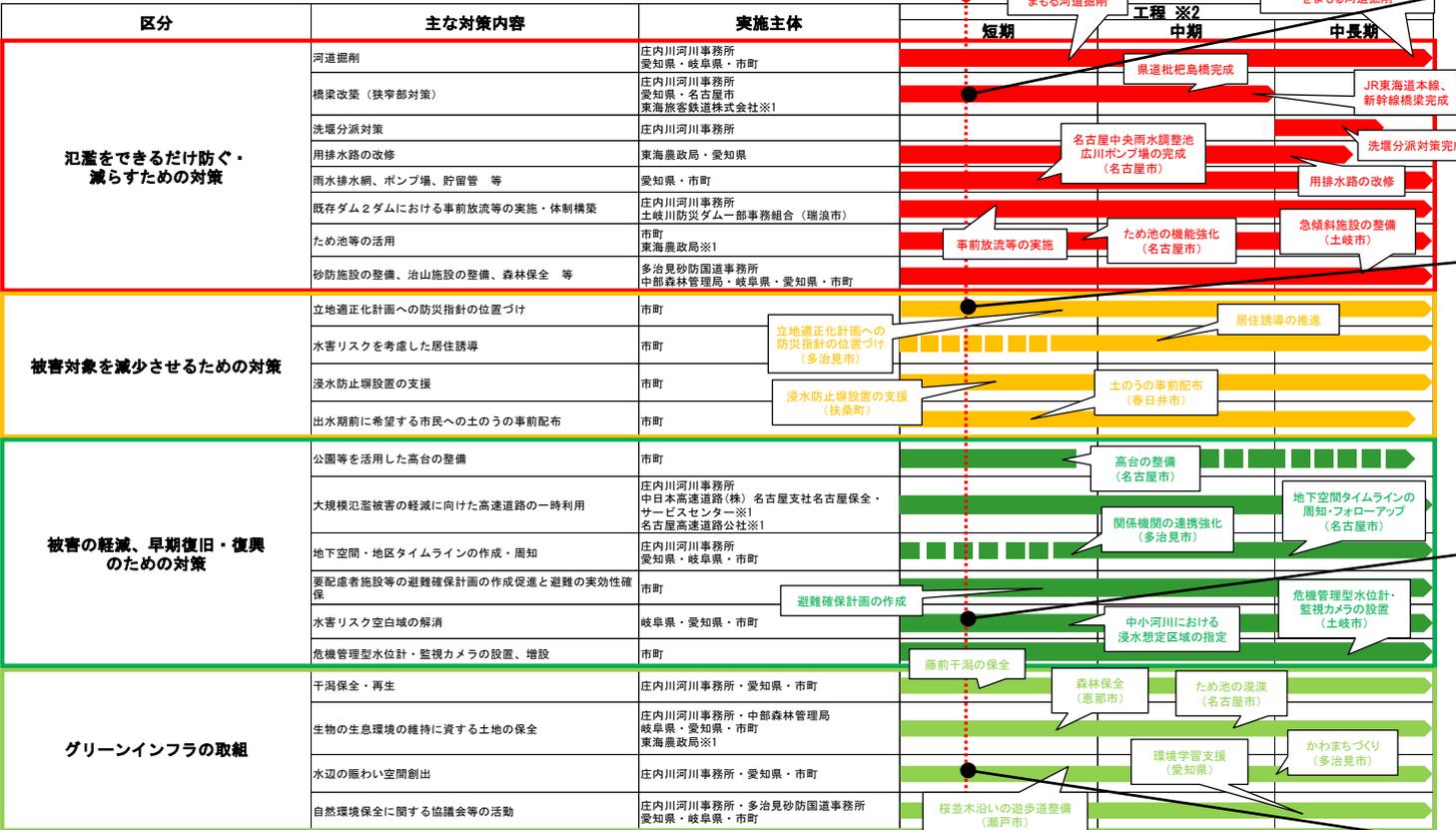


- 各機関によりプロジェクトに基づく各種取組を幅広く、着実に実施し、土岐川・庄内川の流域治水を推進(詳細は次ページ以降)。
- 令和4年度は、住民参画・広報の取組として、流域治水の自由研究募集を実施。

【ロードマップ】

※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。
 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

現在(令和5年3月)



※1: 実施主体ではないが、連携する機関 ※2: 各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載

多治見市・・・P4	小牧市・・・・・・P15	扶桑町・・・・・・・・・・・・・・P25
瑞浪市・・・・・・P5	稲沢市・・・・・・P16	大治町・・・・・・・・・・・・・・P26
恵那市・・・・・・P6	尾張旭市・・・・・・P17	蟹江町・・・・・・・・・・・・・・P27
土岐市・・・・・・P7	岩倉市・・・・・・P18	岐阜県・・・・・・・・・・・・・・P28
名古屋市・・・P8	清須市・・・・・・P19	愛知県・・・・・・・・・・・・・・P30
一宮市・・・・・・P10	北名古屋市・・P20	東海農政局・・・・・・・・・・・・・・P32
瀬戸市・・・・・・P11	あま市・・・・・・P21	中部森林管理局・・・・・・・・・・・・・・P33
春日井市・・・P12	長久手市・・・・・・P22	岐阜・名古屋地方気象台・・・・・・P34
犬山市・・・・・・P13	豊山町・・・・・・P23	多治見砂防国道事務所・・・・・・P35
江南市・・・・・・P14	大口町・・・・・・P24	

【多治見市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



多治見市水管理課 土岐川・庄内川

- 河道掘削、流出抑制対策、内水被害軽減対策のハード事業を実施
- 被害軽減対策、住民の主体的な避難行動を促す取組のソフト対策を推進
- 今後、かわまちづくり、ため池の活用について協議を進める

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削 ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫)) ・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付) ・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大原川、団子川、市之倉川等の掘削を実施。 ● 雨水貯留施設の新設(駅南再開発)。 ● 調整池(明和町、赤坂町、北丘町)の浚渫を実施。 ● 開発行為に対する流出抑制指導を実施。 ● 雨水排水網(太平町)の増強を実施。  	<ul style="list-style-type: none"> ● R5年度は、団子川、市之倉川等の掘削を予定。 ● R5年度は、調整池の浚渫(1か所)を予定。 ● R5年度は、太平町、笠原町の雨水排水網の増強を予定。 ● 調整池の浚渫における補助金制度について、詳しく確認したい。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害ハザード情報の収集、整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● R5年度は、立地適正化計画における防災指針の作成予定。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援)) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会) ・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(防災教育の実施) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区タイムラインの作成支援実施。 ● 多治見市浸水対策協議会の開催。 ● ハザードマップの周知、活用。 ● 防災教育の実施。 ● 水防訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● R5年度は、引き続き地区タイムラインの作成支援を実施予定。 ● R5年度は、引き続き浸水対策協議会、水防訓練を実施予定。
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流等による水位調整) ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出(かわまちづくり、りばーびあ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ため池の事前放流等について地元調整の実施。 ● かわまちづくり計画登録完了。かわまちづくり専門部会の開催(4回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● R5年度は、引き続きため池の活用について地元調整を実施予定。 ● R5年度は、引き続き専門部会にて活用方法、維持管理体制について検討予定。

【瑞浪市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 一級河川土岐川で河川橋梁改築実施。また、普通河川3河川において河道掘削を実施。
- ハザードマップや防災無線・防災ラジオによる情報の周知を実施。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・一級河川での河川橋梁改築 ・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施 ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築 ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設)) 	<ul style="list-style-type: none"> ●岐阜県による一級河川土岐川の河川橋梁改築を継続して実施。  <p>仮橋施工時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川について、R5年度は、土岐川の橋梁改築に係る新橋梁の橋脚工事を予定。 ・普通河川の掘削について、R5年度は、平岩川、東狸岩川、釜糠川、萩原川を予定。また、今後の対象河川に狭間川、大川川を追加予定。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け (立地適正化計画へ防災指針の位置付け) 	<ul style="list-style-type: none"> ●普通河川小井沢川、小井沢川右支川、大川川の掘削を実施。 	
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携強化(土岐川流域新五流総地域委員会) ・ハザードマップの更新(ハザードマップの更新・活用) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムライン作成の促進) 	<ul style="list-style-type: none"> ●土岐川流域新五流総地域委員会への参加 ●ハザードマップの活用(防災訓練等) ●防災無線及び防災ラジオによる情報の周知(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハザードマップの活用(防災訓練等)
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池) 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業用ため池の低水位管理について、地元受益者へ依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業用ため池の低水位管理について、地元受益者へ依頼。

【恵那市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 浚渫計画にある河川の河道掘削を実施しているが、頻発する災害により計画にない河川においても浚渫が必要となってきた
- 森林保全のための間伐を実施しているが、人材の育成・確保が課題となっている

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <p>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川浚渫 令和2年度～令和6年度)</p> <p>● 流出抑制対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業水利施設の活用 (農業用ため池の整備) ・森林保全 (森林整備“間伐”) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・笹尾川、山崎川、兼平川、加賀見川の掘削を実施。  ● ・33.08haの森林整備を実施。  	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、山脇川、山崎川、兼平川、大坪川の掘削を予定。 ・近年頻発する災害により、河道内に堆積した土砂の撤去が追いつかない。 ・R5年度は、41.00haの森林整備を予定。 ・林業従事者が減少傾向である。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <p>● 被害軽減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成推進“自治会”) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難計画策定の推進) ・関係機関との連携強化 (土岐川流域新五流総地域委員会の開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・施設毎に高齢者等の避難計画を策定。 ● ・土岐川流域新五流総地域委員会にて関係機関と連携し、土岐川流域における治水対策プランの取組について情報を共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、個別避難計画モデルを作成。 ・高齢者等の避難計画を策定していない施設に対して継続して働きかけを行う。 ・次年度以降も引き続き連携を強化。
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <p>● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (農業水利施設の活用) ・森林保全 		

【土岐市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



●河道掘削、急傾斜地崩壊防止対策などのハード対策と、ハザードマップを利用した防災学習や避難計画の見直しなどソフト対策の両面から治水対策に取り組むことができた。引き続き両面からのアプローチにより治水対策を推進していく。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・普通河川での河道掘削 ・橋梁改築 ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設)) ・ため池等の活用 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流) ・森林保全 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・砂防施設の整備 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中)) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大洞川・荒神洞川の浸漬 ●新土岐川橋の改築工事(実施中) ●民間開発に対し、雨水流出抑制のための調整池などの設置指導 ●急傾斜地崩壊防止施設の設置(実施中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時実施 ・土岐津橋の改築工事を実施予定 ・随時実施 ・(課題)事業をスケジュールどおりに進めるための事業費の確保
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知 (自治体タイムラインの作成、周知(随時見直し)) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携 (関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会)) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民意識向上のための取組(小学生対象の防災教育)) ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練)) ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画に定められた全ての要配慮者施設における避難確保計画の作成 ●土岐川流域五流総地域委員会にて関係機関と連携し、土岐川流域における治水対策プランの取組について情報を共有。 ●市内小学校5校にて、ハザードマップ・防災資機材を利用した出前講座を実施 ●妻木川御幸橋陸間にて陸間操作訓練を実施(令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施できず) ●危機管理型水位計の必要性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き連携を強化し実施 ・次年度以降も引き続き実施 ・(課題)地域によって防災に対する取組に差があるため、出前講座を通じて防災意識の向上を目指したい。 ・状況や要望に応じ適切に実施
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ●生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流) ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み ●小中学校などにおける河川環境学習 	<ul style="list-style-type: none"> ●土岐川支流肥田川の上流部のポイントにおいて、小学生親子を対象に川の中に生息する生物の調査を通じて川の環境を学習する教室を実施。(生物の種類によって、川の中の環境を判別) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年夏休みの時期に実施

【名古屋市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)(1/2)】



- 新しいハザードマップや防災情報などをまとめた「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を全戸配布予定
- 枇杷島橋改築工事、名古屋中央雨水調整池等の整備を始め各施策を引き続き推進

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<ul style="list-style-type: none"> ●【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削 等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 枇杷島橋改築工事を実施 ● 護岸整備(堀川、野添川、境川)、河床掘削(堀川、境川)を実施  <p>枇杷島橋改築工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 枇杷島橋改築工事を引き続き実施 ● 堀川、千種台川等の河川改修を実施  <p>堀川(河床掘削)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●排水機場の新設・増強・長寿命化(排水機場の増強) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 久田良木川排水機場の増強工事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 久田良木川排水機場の増強工事を引き続き実施
<ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 ● 貯留管等の整備(調整池、調節池) ● 民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導) ● 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付) ● ため池の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等)(ため池の機能強化(施設改良、耐震化)) ● 透水性舗装の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 貯留管等の整備を実施 ● 民間開発による貯留施設設置指導を実施 ● 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援を実施 ● 蛭池、新池の施設改良(豪雨対策)を実施 ● ため池の浚渫を実施 ● 透水性舗装の整備を実施  <p>名古屋中央雨水調整池</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 貯留管等の整備を実施 ● 民間開発による貯留施設設置指導を実施 ● 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援を実施 ● カケヒ池、安田池の施設改良(豪雨対策)を実施 ● 透水性舗装の整備を実施
<ul style="list-style-type: none"> ●内水被害軽減対策 ● 雨水排水網の新設・増強 ● ポンプ場の新設・増強・機能強化(雨水ポンプの新設・増強・機能強化(耐震化、耐水化)) ● 効率的なポンプ運転調整ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨水排水網の新設・増強を実施 ● ポンプ場の新設・増強・機能強化を実施 ● 効率的なポンプ運転調整ルールの検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨水排水網の新設・増強を実施 ● ポンプ場の新設・増強・機能強化を実施 ● 効率的なポンプ運転調整ルールの検討を実施
<ul style="list-style-type: none"> ●【被害対象を減少させるための対策】 ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ● 立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成) ● 水害リスクを考慮した居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立地適正化計画への防災指針の位置付けに向けた検討、策定、公表 ● 水害リスクを考慮した居住への誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立地適正化計画の防災指針を運用 ● 水害リスクを考慮した居住への誘導

【名古屋市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)(2/2)】



名古屋市河川流域治水課

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <p>●被害軽減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園等を活用した高台の整備 広域避難計画の策定(想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定) 地下空間、地下タイムラインの作成・周知(地下空間タイムラインの活用) 水位周知下水道の指定・運用 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進) ハザードマップの更新 	<ul style="list-style-type: none"> 船頭場公園内に高台広場の整備を実施 水位周知下水道の指定および水位周知下水道システムの運用を実施 新たに雨水出水浸水想定区域および高潮浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設への避難確保計画等の作成、訓練の実施・報告について周知・啓発を実施 「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を市公式ウェブサイトに掲載し、令和5年3月に全戸配布予定 危機管理水位計の水位情報の配信を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 船頭場公園の施設整備等の実施。 水位周知下水道システムの運用 要配慮者利用施設の避難確保計画作成等を支援する取組を推進 「なごやハザードマップ防災ガイドブック」の周知・啓発 
<p>●住民の主体的な避難行動を促す取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所や経路等に関する情報の周知(ハザードマップ等の全戸配布) 分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進(住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)) ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(ハザードマップ等の全戸配布) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度防災人材育成計画の策定 分かりやすい教材等を用いた防災教育を実施 助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発を実施 「なごやハザードマップ防災ガイドブック」の全戸配付を実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度防災人材育成計画の策定 分かりやすい教材等を用いた防災教育を実施 助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発を引き続き実施 名古屋市に転入する市民に対し、「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を配付
<p>●ソフト対策のための整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設(独自システムを用いた水位状況、ポンプ運転状況等の常時配信) 	<ul style="list-style-type: none"> 独自システムを用いた市内の川の水位状況、雨量状況、ポンプ運転状況、カメラ画像等の常時配信を実施 独自システムにおける水位状況配信地点の追加 	<ul style="list-style-type: none"> 独自システムを用いた水位状況、ポンプ運転状況等の常時配信を実施
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <p>●自然環境の保全・復元などの自然再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟保全・再生(藤前干潟の保全) ヨシ原再生(藤前干潟の保全) 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施 「藤前干潟ふれあい事業」ラムサール条約登録20周年記念イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施
<p>●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型水鳥等の採餌場(藤前干潟の保全) 休憩地等の生息環境創出(藤前干潟の保全、都心の生きもの復活事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施 「藤前干潟ふれあい事業」ラムサール条約登録20周年記念イベントの実施 「都心の生きもの復活事業」モデル事業実施 生物多様性に配慮した緑化のためのガイドラインを策定 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施 ガイドラインに基づく本格実施
<p>●健全なる水循環系の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 浄化浚渫(河床掘削) 	<ul style="list-style-type: none"> 堀川において、河床掘削に合わせたヘッド口の浚渫を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 河床掘削に合わせたヘッド口の浚渫を実施
<p>●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の浚渫、ため池の保全) 	<ul style="list-style-type: none"> ため池の保全を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ため池の保全を引き続き実施
<p>●治水対策における多自然川づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備における生物の多様な生育環境の保全(藤前干潟の保全) 河川景観の保全・創出(河川美化活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施 「藤前干潟ふれあい事業」ラムサール条約登録20周年記念イベントの実施 「川を美しくする会」の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 藤前干潟ふれあい事業の実施 「川を美しくする会」の活動を引き続き支援
<p>●魅力ある水辺空間・賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 水辺の賑わい空間創出(水辺空間の利活用) 	<ul style="list-style-type: none"> 堀川において、ライトアップ整備やイベントの実施、オープンカフェ等による河川敷地の利用推進を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もイベントの実施やオープンカフェ等による河川敷地の利用推進を実施
<p>●自然環境が有する多様な機能活用の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校などにおける河川環境学習(湧き水モニタリング、水質環境目標値市民モニタリング、庄内川啓発イベント・動画) 自然環境保全に関する協議会等の活動(藤前干潟の保全、身近な自然(緑地・ため池など)の保全・再生) 民間協働による水質調査(市民団体との協働による水質調査(堀川11000人調査隊)) 	<ul style="list-style-type: none"> 湧き水モニタリング及び水質環境目標値市民モニタリングの実施 「カヌー&ガサガサ体験～土岐川・庄内川の水環境を学ぼう～」(岐阜県多治見市開催) 庄内川啓発動画の公開 藤前干潟ふれあい事業の実施 「藤前干潟ふれあい事業」ラムサール条約登録20周年記念イベントの実施 堀川において、市民団体との協働による水質調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校などにおける河川環境学習(新しい市民モニターによる湧き水モニタリング及び水質環境目標値市民モニタリング、庄内川啓発イベント・動画) 藤前干潟ふれあい事業の実施 市民団体との協働による水質調査を引き続き実施

【一宮市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 千間堀川の河川改修について、令和4年度に45mを整備し、全体改修率92%を達成。
令和6年度以降に橋梁部【L=24m(上下流取付け護岸含)】を整備予定
- 想定最大規模の降雨に対応した避難確保計画作成の啓発を行う予定
- 雨水貯留施設を多加木公園及び大平島公園(令和5年度～令和6年度)に築造予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等)) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備(多加木公園及び大平島公園等)) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備) ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備) ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●千間堀川の河川改修を45m整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度以降に千間堀川の橋梁部【L=24m(上下流取付け護岸含)】を整備予定 ・令和5年度～令和6年度に貯留施設整備(大平島公園、多加木公園)を予定 ・令和5年度に森本中央公園における貯留施設整備に必要な設計等委託業務を予定
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール) 	<ul style="list-style-type: none"> ●想定最大規模の浸水想定区域の対象施設へ避難確保計画作成の啓発を実施 ●防災ハンドブック改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模の浸水想定区域の対象施設へ避難確保計画作成の啓発を行う予定

【瀬戸市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、普通河川の樹木伐採や河道掘削を今年度実施
- 避難確保計画に基づく避難訓練の実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施) ● 流出抑制対策 ・ため池等の活用 (ため池の活用を実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通河川の大六川にて樹木伐採及び河道掘削を現在実施中。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 樹木伐採状況 河道掘削状況 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度以降も継続して大六川他河川の掘削を予定。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・水害リスクの低い地域への居住誘導 (水害リスクの低い地域への移住誘導を検討) 		<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川の水野川沿いにて土地区画整理事業で宅地の嵩上げ等をし、浸水被害を低減する。 R6年度から区画整理事業開始予定。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (作成した計画に基づく避難訓練の実施促進) ・ハザードマップの更新 (現行のハザードマップの背景地図を更新) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水防法に基づく浸水想定区域内に位置する要配慮者施設については、避難確保計画が策定済みであり、作成された避難確保計画に基づく避難訓練を実施した。 ● 安全安心情報メール登録者数増員に向け、広報や市ホームページ、ラジオ放送等により周知啓発を実施した。 ● 市内一部の小中学校の生徒、教員を対象に防災講話等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度と同様、引き続き避難確保計画に基づく避難訓練を実施予定。 ・ため池ハザードマップの更新を実施予定。 ・引き続き周知啓発を実施予定。
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池) ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の賑わい空間創出 (河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備) 		<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理の進捗に合わせて実施予定

【春日井市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 雨水調整池・雨水排水網・ポンプ場を新設、内水被害軽減対策事業を実施。
- 県管理河川の動画による水位監視を実施。立地適正化計画の見直しを実施。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備(調整池の整備) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(家庭雨水利用促進補助) ・ため池等の活用(流域の雨水貯留機能の向上(ため池の活用)) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・ため池の低水位管理を実施 ● ・雨水調整池・雨水排水網・ポンプ場を新設 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・家庭用雨水貯留浸透施設設置補助事業を継続。 ● ・新たな調整池の整備箇所について検討。 ● ・ため池の低水位管理について、他に実施可能なため池がないか調査を実施。 ● ・引き続き下記事業を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・上条地区：雨水排水網新設 ・熊野桜佐土地区画整理地区：雨水排水網新設 ・西部第一・第二土地区画整理地区：雨水排水網新設、調整池整備 ・勝西ポンプ場の増強・機能強化
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(立地適正化計画への防災指針の位置付けを検討) ● 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・立地適正化計画に位置付ける防災指針の検討を実施。 ● ・希望する市民に土のうの事前配布を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・令和5年度末に立地適正化計画に防災指針を位置付け公表する予定。 ● ・土のうの事前配布事業継続。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ハザードマップの更新(洪水ハザードマップ(最大想定規模)の配布) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(水防訓練の実施) ● ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設(ライブカメラ等による水位情報の配信) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・避難確保計画未作成要配慮者利用施設に対する作成依頼、作成済みの施設に対する計画内容の見直し依頼、すべての施設に対する避難訓練実施後の報告書提出依頼を実施。 ● ・市の水防対策として、県のカメラがない区間における県管理河川の動画による水位監視を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・避難確保計画未作成施設に対し、作成依頼の方法を検討。 ● ・次年度出水期より、市公式YouTubeにて配信開始を予定。
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池) ● 自然環境が有する多様な機能活用の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・民有ため池の廃止の相談は無し。市有ため池の日常管理を実施。 ● ・自然観察会(ガサガサ体験)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・引き続き適正な管理に努める。 ● ・毎年度定期的に関催を予定。

【犬山市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 調整池の整備
- 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置費の補助) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 	<ul style="list-style-type: none"> ●雨水貯留浸透施設設置費の補助 交付件数: 7件 交付金額: 156千円 ●雨水排出量抑制のための調整池を整備開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ●R5年度も引き続き調整池の整備を進める。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ●立地適正化計画への防災指針の位置付け (立地適正化計画に基づく検討) 		
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進) ・ハザードマップの更新 (ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進(住民の防災意識向上のための取組) ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの設置・増設) 	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害警戒区域周辺住民を対象とした啓発活動(入鹿地区) ●総合防災訓練(楽田小学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害警戒区域周辺住民を対象とした啓発活動(栗栖地区) ●総合防災訓練(城東中学校)
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ●生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (ため池の機能強化) 		

【江南市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



江南市水まもる土砂川・庄内川

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画作成推進、雨水浸透貯留施設設置費補助等を実施
- 次年度以降も継続して各対策メニューを実施予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (雨水貯留施設や雨水管線の整備) ・民間開発による貯留施設設置指導 (江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県立古知野高等学校雨水貯留施設整備工事にむけた調整。 <ul style="list-style-type: none"> ・民間開発への流出抑制指導を実施。 ・各家庭等における雨水貯留浸透施設設置費に対する助成を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● R5年度から県立古知野高等学校雨水貯留施設整備工事着工を予定。 ● R5年度から市内の2箇所雨水貯留施設整備に係る実施設計を予定 ● 民間開発への流出抑制指導と雨水貯留浸透施設に対する助成を今後も継続して実施予定。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木曾川の浸水想定区域内にあり、地域防災計画に名称等を定めている要配慮者利用施設、約180施設に対し、避難確保計画の見直し及び避難訓練結果報告書の提出を求め、必要に応じて助言を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> また、新規施設に対しては、避難確保計画の作成を促進し、作成率100%を達成している。 ● 令和3年3月に作成した防災ハンドブック等を題材に市政よもやま塾(出前講座)等を通じて、市民に防災情報を周知するなど、日頃からの防災意識の向上に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> また、小学校からの要請に応じ、パワーポイント等で作成した資料を用いたシェイクアウト等、災害発生時の避難行動に関する講義や防災倉庫の備蓄品を実際に見学してもらうこと等で小学生の防災意識の向上にも努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も継続して実施予定 ● 今後も継続して実施予定
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出 (河川空間の利用促進(環境学習や憩いの場としての利活用)) ● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習 (親子ふれあい観察会(ビオトープ池で、生き物を観察し、自然の大切さについて学ぶ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月と11月に、五条川で環境学習会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も継続して開催予定



- 雨水排水網の整備や雨水貯留施設設置などのハード事業を実施
- 雨水貯留施設設置補助や住民や職員への防災教育などのソフト対策を推進

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (準用河川整備(新川・小針川)) ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 公園等の活用を含む雨水貯留施設整備 (第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設等設置補助金) ・ ため池等の活用(ため池の機能強化) ・ 水田の貯留機能向上(水田利用による雨水流出抑制対策) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水排水網の新設・増強 (大山川排水区(応時雨水幹線)・薬師川排水区・下小針雨水幹線) ・ 効率的なポンプ運転調整ルール検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準用河川新川の掘削を実施。 ● 雨水貯留施設の供用開始(井領公園、第3老人福祉センター) ● 雨水貯留施設設置工事着工(本田会館北公園) ※R5年度完了予定  <ul style="list-style-type: none"> ● 薬師川排水区の雨水排水網整備(東田中地内) ● 雨水幹線の整備(応時雨水幹線、下小針雨水幹線) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準用河川新川の整備を引き続き実施 ● 本田会館北公園雨水貯留施設の供用開始(R5年度中) ● 雨水貯留施設の新規設計開始 ● 薬師川第6排水区の雨水排水網整備を引き続き実施 ● 応時雨水幹線、下小針雨水幹線の整備を引き続き実施
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ ハザードマップの更新 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載) ・ 分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ポンプ操作規則を作成 ● 避難場所や経路等に関する情報の周知 (小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載等) ● 講師を招いて職員への防災講演会を実施 ● 市内一斉の防災訓練の実施 	
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ● 生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (既存ため池の嵩上げ・余水吐の改良による雨水流出抑制) (畔の嵩上げ・排水路改修による雨水流出抑制) 		

【稲沢市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 流出抑制対策の地元説明会、用地取得に向けた測量の実施
- 雨水貯留施設設置補助金制度を新設、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備の促進

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 (調整池、流域貯留の整備) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設設置補助金) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的なポンプ運転調整ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● <ul style="list-style-type: none"> ・ 流出抑制対策(調整池)について、赤池調整池の地元説明会の開催、用地取得に向けた測量の実施。 ・ 流出抑制対策(流域貯留)について、教育委員会及び下津小学校と事業実施に向けた協議。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 5年度は、赤池調整池の基本設計及び地質調査を実施。 ・ 下津小学校校庭貯留の予備設計を実施。 ・ R 5年度に補助金制度を新設。 ・ R 5年度から、チラシやSNS等でPRを開始。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ ハザードマップの更新 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災マップの配布) ● ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 	<ul style="list-style-type: none"> ● <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画が未作成である施設を対象に市ホームページ等により計画作成及び避難訓練の実施について周知。 ● <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップを窓口等において配布するとともに市ホームページに掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 5年度以降も継続して実施。 ・ R 5年度以降も継続して実施。

【尾張旭市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】

- 浸水対策工事を実施し、大雨による浸水被害を抑制した。
- 河川及びため池の状況をリアルタイムに確認するため、監視カメラを設置した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備(貯留施設の整備・保全) ・ため池等の活用(ため池の活用による流出抑制) ・水田の貯留機能向上(水田の活用による流出抑制) ・透水性舗装の整備 ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強(排水施設の整備・維持管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・ため池の低水位管理による流出抑制を実施 ● ・浸水対策工事を実施  	<ul style="list-style-type: none"> ・水田の活用について検討 ・透水性舗装を整備する区域の検討 ・引き続き対策必要箇所ですら工事を実施
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頻繁・激化する自然災害に対し「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の検討・作成) ● 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・希望する市民へ土のうを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き希望者へ土のうを配布
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ハザードマップの更新 ● ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計、監視カメラの設置(河川監視カメラの設置) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・監視カメラの設置(デジタル田園都市国家構想交付金事業)  	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの増設及び機能強化
<p>【グリーンインフラの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川の保水、遊水機能を有する土地の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(農業用ため池の低水位管理) ・農業振興地域内農用地の保全) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・監視カメラの設置(デジタル田園都市国家構想交付金事業)  ● ・農業振興地域整備計画の見直しを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き農用地の保全業務の実施。

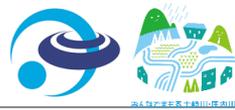
【岩倉市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策について、今年度大矢公園調整池の整備を開始した。
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策について、防災講話などを通して、避難場所やハザードマップの周知、水害リスク理解促進を図った。ハザードマップの更新を行った。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内水被害軽減策(農業排水施設等の活用) <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の増強・機能強化(農業排水施設等の活用) (大市場・大山寺・北島・野寄・川井の排水機場の更新) ・雨水排水ポンプ場の新設(曾野・大山寺・北島・野寄排水機場の排水機能強化) ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備) ・各家庭等における雨水貯留施設整備への支援 (雨水貯留施設等設置費補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大市場排水機場更新について樋管等を施工(令和5年度継続) ● 大山寺排水機場更新について用地買収を行った。 ● 大矢公園調整池の整備を開始した。 	<p>大市場排水機場では機場下部工事を施工予定</p> <p>来年度に大矢公園調整池の整備が完了する予定。</p>
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進) ・ハザードマップの更新 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知(避難場所・経路の情報推進) ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(防災教育の推進) ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイトimeline策定の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象施設に避難確保計画の作成と避難訓練の実施について働きかけを行った。 ● 浸水ハザードマップの更新を行った。 ● 防災講話などを通して、避難場所やハザードマップの周知、水害リスク理解促進を図る。 	<p>継続して防災講話などを通して、避難場所やハザードマップ等に関する周知を行う。</p>
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・休憩地等の生息環境創出 (五条川における生物生息調査と外来生物の駆除) ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の賑わい空間創出 (「岩倉の水辺を守る会」による五条川におけるイベント(水辺まつり、親子魚釣り教室等)) ● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校などにおける河川環境学習 (五条川流域の小中学校児童による五条川水生生物調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「岩倉の水辺を守る会」と協働で五条川における外来種カメの駆除及び生息状況調査を行った。 ● 「岩倉の水辺を守る会」による五条川におけるイベント(水辺まつり、親子魚釣り教室)が実施された。 	

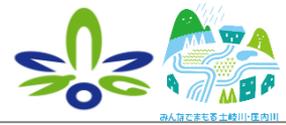
【清須市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 雨水幹線の整備として、土田幹線、水場川右岸第一幹線の一部を施行。
- 自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発をした。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 (雨水調整池の整備) ・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水貯留浸透施設の設置指導) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金) ・ 透水性舗装の整備 ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水排水網の新設・増強 (雨水幹線の整備) ・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水ポンプ場の整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 堀江ポンプ場の機能強化。  	<p>R5年度の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水幹線の整備 土田幹線、水場川右岸第一幹線を整備中。 ・ 雨水ポンプ場の整備 豊田川ポンプ場、堀江ポンプ場を整備中。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地適正化計画への防災指針の位置付け (防災指針のガイドライン検討のモデル都市) 	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)五条川防災センター整備の実設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小中学校体育館空調設備の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (仮称)五条川防災センター新築工事 ・ 自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発を予定。 ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進。
<p>【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災拠点の整備 ((仮称)五条川防災センター整備・市内小中学校体育館空調設備の設置) ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域避難計画の策定 (広域避難について検討中) ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達) ・ 分かりやすい教材等を用いた防災教育 (水害をテーマとした防災講演) ・ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (手作りハザードマップの作成) (自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発) (自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認) (市内中学生の自主防災訓練への参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップの周知。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作りハザードマップの作成。 ・ 水害をテーマとした防災講演の開催  	
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 治水対策における多自然川づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川景観の保全・創出 (河川美化活動) ・ 水辺の賑わい空間創出 (りばーびあ) ● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における河川環境学習 (市内小学校環境学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川美化活動 ● りばーびあ ● 市内小学校環境学習 	

【北名古屋市の流域治水対策の進捗状況（令和4年度）】



北名古屋市環境土木部 河川課

- 内水被害軽減対策として、雨水幹線排水路の整備を実施
- 立地適正化計画の策定業務を実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備) ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設、増強 (幹線排水路の改修) ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備) ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●民間開発における雨水浸透阻害行為に対する指導を実施。 ●各家庭における雨水貯留施設整備の支援を実施。 ●幹線排水路の整備を実施。  <p>【沖村西部排水区】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透阻害行為への指導及び雨水貯留施設整備への支援を継続して実施予定。 ・雨水幹線排水路の整備を継続して実施予定。 ・県河川事業と連携した雨水貯留施設の整備を実施予定。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ●立地適正化計画への防災指針の位置付け ●水害リスクを考慮した居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導) 	 <p>【J第1排水区】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画を策定予定。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・わかりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ●立地適正化計画の策定業務を実施。 ●市内高校に対し、NHKと共同で防災教育を実施。 	

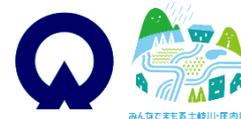
【あま市の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- ハザードマップの周知や自主防災会及び高校生向けの防災出前講座を実施した。
- 適切な数値評価に基づく浸水特性や浸水要因を総合的に把握する必要がある。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備) ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備) ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の訓練参加及び講演を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的かつ効率的なハード対策を実施するため、適切な数値評価に基づく浸水特性や浸水要因を総合的に把握する必要がある。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ・高校生向けの防災出前講座を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災会における避難訓練の支援として、必要な助言・相談及び講演を行う。 ●定期的に小・中・高校生に向けた防災出前講座を実施する。
	 	

【大口町の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



高知県高岡郡高岡町
高岡町高岡川

●「特定非営利活動法人子どもと文化の森」に対し、ハザードマップ・監視カメラ等について防災出前講座を実施した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <p>●被害軽減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ハザードマップ更新(令和3年度更新) (現行の防災マップ(地震・洪水)を更新し、新しい情報を住民に周知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進 ・ハザードマップの住民に対する周知 ・住民の水害リスクに対する促進
<p>●ソフト対策のための整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラ設置) <p>役場からほど近い五条川(平和橋)に監視カメラが設置してあり、川の水位を確認することができます。</p> <p>また、今後、民間企業の協力を得ながら、主要な河川のポイントに監視カメラを増設していく予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地における災害対応要領の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラの住民に対する周知

【扶桑町の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 雨水貯留施設の維持管理
- 民間開発による貯留施設整備指導、各家庭における雨水貯留施設整備への支援
- 扶桑町地域防災リーダー養成講座の開催

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備計画) (貯留施設の整備・効果発現) ・民間開発による貯留施設整備指導 (民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設(雨水タンク・浸透枳)設置の支援) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調節池の草刈り、貯留槽の浚渫を実施。 写真左: 調節池の草刈り 写真右: 貯留槽の浚渫 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調節池、貯留施設が機能するよう、R5年度も今年度に引き続き調節池、貯留槽の維持管理を実施。 ● R5年度も今年度に引き続き、開発事業者へ貯留施設の整備を指導し、雨水貯留浸透施設等の整備を支援し、河川への流出抑制を図る。
<p>【被害対象を減少させるための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水災害ハザードエリア等における各家庭への浸水防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・浸水防止塀設置の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発事業者に対する貯留施設整備を指導。 写真左: 開発事業者が設置した雨水貯留施設 ● 雨水貯留浸透施設を展示し、施設整備をPR。 写真右: 窓口の製品展示風景 	
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ● 住民の主体的な避難を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (あらゆる機会を活用した水防リスク情報の提供) ・分かりやすい教材を用いた防災教育等の防災意識向上のための取組 (地域防災リーダーの養成) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 扶桑町地域防災リーダー養成講座を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の防災意識向上のため、R5年度も引き続き扶桑町地域防災リーダー養成講座を開催する。

【大治町の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】

- 河川浚渫の実施
- 要配慮者利用施設避難確保計画作成率100%に向けた取り組み
- 小学校における防災教育の実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (浚渫(準用河川)) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (貯留施設機能の維持) ・民間開発による貯留施設設置指導 開発行為に対する流出抑制指導 (貯留浸透施設) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 ポンプ場の整備 (西條円楽寺地区・砂子東排水区) ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●準用河川小糠田川の浚渫を令和4年度内に実施。 (令和5年2月25日完了予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、引き続き準用河川小糠田川の浚渫を実施予定。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●早期復旧に備えた対策 <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点の整備 (一次避難地となる防災公園整備) ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成 ・更新・訓練実施の促進 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進 (小学校における防災教育の実施) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 みずから守るプログラムによる ハザードマップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●要配慮者利用施設に対し、水防法の法改正の内容の周知を実施。また、HPの関連記事の内容を充実化や避難確保計画未作成施設に対して直接作成指導を実施した。 ●令和4年11月、小学生とその保護者を対象に、防災イベント「楽しく学ぼう！ぼうさいマスター in おおはる」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の実施率向上を促進する。 ・住民向けに効果的な防災啓発を実施していく。
	<p>(「楽しく学ぼう！ぼうさいマスター in おおはる」の写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大治南小学校にて、マイ・タイムラインをテーマとした防災教育を実施予定。(令和5年2月、5年生対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における防災教育を定期的に実施していく。

【蟹江町の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 今年度は、町内排水路の浚渫や整備を実施したほか、各所で防災訓練・防災学習会を実施した。
- 地域団体や住民と実施する取組を少しずつ再開することができ、住民の防災意識向上を図る事業を実施することができた。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (排水路の整備、改修及び堆積土砂の浚渫) ・各家庭における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浄化槽雨水貯留施設転用への支援) ●内水被害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプの増強、予備排水) 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内排水路の浚渫を実施  ●町内排水機場の改修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、町内排水路の堆積土砂の浚渫を実施していく。(学戸8号排水路) ・県営事業による排水機場の改修を継続的に実施し、徹底した維持管理していく。
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの更新) ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設の避難確保計画の作成) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知及び水害リスクに対する理解促進の取組 (地区防災計画の策定推進、自主防災訓練の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練、防災学習会を実施  	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、防災訓練・防災学習会を実施していく。

【岐阜県の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)(1/2)】

- 土岐川について、目標とする30年に一度の洪水を安全に流下させるよう、土岐川圏域河川整備計画に基づき土岐橋架け替え工事に着手した。
- 土岐川流域の多治見市・土岐市・瑞浪市の小学校を対象に、カワゲラウオッチングや洪水の危険性等の防災・河川環境学習を実施した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 ・流出抑制対策（既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全） ・内水被害軽減対策（雨水排水網の新設・増強） ・土砂災害対策（砂防関係施設の整備、治山施設の整備） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土岐川の仮橋の設置及び土岐橋旧橋撤去・下部工に着手。 ● 小里川の河道掘削・堤防整備工事を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、土岐川の土岐橋架替（下部工）等を実施予定。 ・引き続き、小里川の河道掘削・堤防整備工事を実施予定。 ・引き続き、砂防関係施設の整備を実施予定。
<p>■ 被害対象を減少させるための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組（立地適正化計画への防災指針の位置付け） 	<p>土岐川の状況</p> 	
<p>■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害軽減対策（広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知、土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）、災害時応急対策用資機材備蓄拠点の整備） ・住民の主体的な避難行動を促す取組（避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信、土砂災害警戒情報の発表、土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施） ・ソフト対策のための整備（危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 瑞浪小学校他、8校で防災・河川環境学習を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、小学校での防災・河川環境学習を実施する。 ・引き続き、土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信等を行う。
<p>■ グリーンインフラの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全・復元などの自然再生（河川の連続性の回復（フィッシュウェイ・サポーターとの協働による魚道点検）） ・沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全（生物の生息環境の維持に資する土地の保全（ため池の事前放流等、砂防関係施設の整備、治山施設整備による森林の保全等）） ・治水対策における多自然川づくり（整備における生物の多様な生育環境の保全） ・魅力ある水辺空間・賑わい創出（水辺の賑わい空間創出（かわまちづくり）） ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み（小中学校などにおける河川環境学習、自然環境保全に関する協議会等の活動（流域全体を対象とした清掃活動）） 		

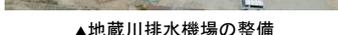
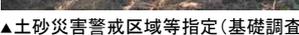
【岐阜県の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)(2/2)】

- 荒廃溪流や林地崩壊箇所において、治山施設整備を実施し、土砂災害対策を実施。
- 森林整備(間伐)を実施。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 ・流出抑制対策(既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全) ・内水被害軽減対策(雨水排水網の新設・増強) ・土砂災害対策(砂防関係施設の整備、治山施設の整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 治山施設整備(治山ダム、山腹工等)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● R4年度も引き続き治山施設整備、森林整備(間伐)を実施する。
<p>■ 被害対象を減少させるための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組(立地適正化計画への防災指針の位置付け) 		
<p>■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害軽減対策(広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知、土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)、災害時応急対策用資機材備蓄拠点の整備) ・住民の主体的な避難行動を促す取組(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信、土砂災害警戒情報の発表、土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施) ・ソフト対策のための整備(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林整備(間伐)を実施。 	
<p>■ グリーンインフラの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全・復元などの自然再生(河川の連続性の回復(フィッシュウェイ・サポーターとの協働による魚道点検)) ・沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全(生物の生息環境の維持に資する土地の保全(砂防関係施設の整備、治山施設整備による森林の保全等)) ・治水対策における多自然川づくり(整備における生物の多様な生育環境の保全) ・魅力ある水辺空間・賑わい創出(水辺の賑わい空間創出(かわまちづくり)) ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み(小中学校などにおける河川環境学習、自然環境保全に関する協議会等の活動(流域全体を対象とした清掃活動)) 		

【愛知県(新川圏域)の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】

- 新川圏域河川整備計画に基づき、河道改修や流出抑制対策を実施しました。
- 青木川放水路(機械設備工)整備を実施しました。

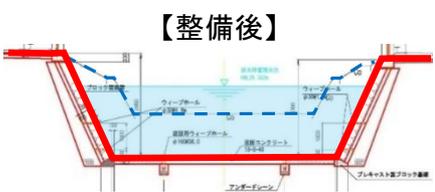
対策メニュー	今年度の実施事項(愛知県)	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<ul style="list-style-type: none"> ●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等 ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策 ・流出抑制対策 (貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備) ・土砂災害対策 (砂防関係施設の整備、治山施設の整備) ・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルール検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ●新川の堤防耐震補強を実施 ●五条川の河道掘削、橋梁改築を実施 ●薬師川の堤防整備を実施 ●青木川放水路整備(機械設備工)を実施 ●地蔵川排水機場(本体工)を実施 ●大山川調節池の設計委託を実施 ●青木川調節池(底版工)を実施 ●倉曾洞沢地区(砂防堰堤工)の整備を実施。 ●土砂災害警戒区域等の指定のための基礎調査を実施  	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度も、引き続き、河川改修の進捗を図る。 (主な河道改修予定) ・新川の堤防耐震補強 ・五条川の河道掘削、橋梁改築 ・薬師川の堤防整備 ・青木川の放水路整備(機械設備) ・大山川調節池の整備 ・青木川調節池の整備 ・砂防施設の整備
<ul style="list-style-type: none"> ●被害対象を減少させるための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導) ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策 (浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布) 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県基幹的広域防災拠点の整備
<ul style="list-style-type: none"> ●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・早期復旧に備えた対策(防災拠点の整備) ・被害軽減対策 (公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地区タイムラインの作成・周知、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の实效性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知) ・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組) ・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設) 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域等の指定
<ul style="list-style-type: none"> ●グリーンインフラの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全・復元などの自然再生 (干潟の保全・再生、ヨシ原再生) ・治水対策における多自然川づくり (整備における生物の多様な生育環境の保全) 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域等指定(基礎調査)

【愛知県(庄内川上流圏域)の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】

- 庄内川上流圏域河川整備計画に基づき、河川改修を実施しました。
- 手作りハザードマップの作成(清須市、豊山町)を実施しました。

対策メニュー	今年度の実施事項(愛知県)	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<ul style="list-style-type: none"> ● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等 ・流出抑制対策 (貯留管等の整備、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備) ・土砂災害対策 (砂防関係施設の整備、治山施設の整備) ・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 八田川の堤防整備を実施。 ● 水野川12支川(砂防堰堤工)の整備を実施。 ● 矢田川の魚道整備を実施。  <p>◀八田川(堤防整備)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度も、引き続き、河川改修の進捗を図る。 <p>(主な河道改修予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八田川の堤防整備 ・砂防施設の整備 ・矢田川の魚道整備
<ul style="list-style-type: none"> ● 被害対象を減少させるための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導) ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策 (出水期前に希望する市民への土のうの事前配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢田川(魚道整備) ● 水野川第12支川(砂防堰堤工)  	
<ul style="list-style-type: none"> ● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・被害軽減対策 (要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知) ・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組) ・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土砂災害警戒区域等の指定のための基礎調査を実施 ● みずから守るプログラムによる手作りハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土砂災害警戒区域等の指定
<ul style="list-style-type: none"> ● グリーンインフラの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全・復元などの自然再生 (河川の連続性の回復、水際環境の創出) ・治水対策における多自然川づくり (整備における生物の多様な生育環境の保全) ・魅力ある水辺空間・賑わい創出(水辺の賑わい空間創出) ・自然環境が有する多様な機能活用の取組み (自然環境保全に関する協議会等の活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手作りハザードマップの概要  <p>▲土砂災害警戒区域等指定(基礎調査) ▲手作りハザードマップの概要</p>	

●東海農政局では、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる用排水路の改修を実施。
引き続き、新木津用水路の改修を実施していく予定。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修(国営総合農地防災事業)) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池等の活用※ ・水田の貯留機能向上※ ※実施主体ではないが、連携して取り組む 	<p>●新木津用水路の改修を実施。</p>  	<p>●引き続き、新木津用水路の改修を予定。</p>
 <p>新木津用水路の断面を拡幅 (薬師川河川供用区間)</p> <p>【整備前】</p>  <p>↓</p> <p>【整備後】</p>  <p>◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ</p>		
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池、水田)※ <p>※実施主体ではないが、連携して取り組む</p>		

【中部森林管理局の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



●森林保全

・森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図るため森林整備(間伐)を実施した(令和3年度)。

●土砂災害対策

・来年度以降に土砂災害対策として溪間工を実施する。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・森林保全 (森林整備(間伐)) (森林の適正な管理) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 (治山対策) 	<p>・今年度の事業実施は無し。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <h3>森林整備 (間伐)</h3> </div>  <p style="text-align: center;">昨年度の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備(間伐) ・土砂災害対策(溪間工)
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全 ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全 (森林整備、治山対策) 		

愛知県瀬戸市瀬戸国有林

【岐阜・名古屋地方気象台の流域治水対策の進捗状況(令和4年度)】



- 地域の気象防災業務支援強化の取り組みとして、岐阜・愛知県内流域市町村の首長と気象台長の懇談や防災担当者との打合せを実施し、「顔の見える関係」の維持、強化及び気象情報の理解向上を図った。
- 市町村担当者を対象とした気象防災ワークショップや警報が発表されるような気象状況において防災メール等による気象解説を実施し、気象情報の利活用についてのフォローアップを図った。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 ・気象に関する予報精度の向上 ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体が作成するタイムラインの見直し等への助言) ・関係機関との連携強化 (地域の気象防災支援(あなたの町の予報官、JETT派遣)) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取り組み (住民への防災気象情報(キキクル等)の利活用を促進) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「線状降水帯による大雨の可能性」を呼びかける気象情報の提供開始 ● キキクル(危険度分布)の表示の改善 ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善 ・指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測で発表する改善 ・大雨・洪水警報等の発表基準の見直し ● タイムライン見直しに係る流域内市町村からの依頼はなかった。 ● 県内流域市町村の首長と気象台長との懇談を実施。 (岐阜県:0市(昨年度実施済)、愛知県:10市町) ・岐阜県・愛知県の土岐川・庄内川流域を含む全市町村を対象に、自治体職員への気象防災ワークショップを実施。 ・大雨や大雪について、警報が発表されるような気象状況の際は電話及び防災メールで状況や見通しを説明し、解説を実施。 ・岐阜県・愛知県に台風接近など影響が想定される時、各県のTV会議システムを使用して岐阜県・愛知県内の、土岐川・庄内川流域を含む全市町村に対して台風説明会を実施。 ・土岐川・庄内川流域内のほぼ全ての市町村の防災担当者と打合せ(訪問又はオンライン)を行い、気象庁の取組について説明を行うとともに、防災情報の利活用についてフォローアップを行った。 ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りつつ、可能な範囲で出前講座や防災講演会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予報精度の向上について、引き続き取り組む予定。 ・引き続き、大雨・洪水警報等の発表基準について、過去の水害事例等を基に見直し作業を行い、必要があれば変更を行う。 ・R5年度も引き続き取り組む。 ・R5度は、R4年度中に訪問できなかった市町村長と関係構築を図る。 ・R5年度も気象防災ワークショップや気象解説等を実施し、関係市町村の支援に引き続き取り組む。 ・新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、対面での実施も含め、引き続き取り組む。

【多治見砂防国道事務所の流域治水対策の進捗状況（令和4年度）】



- 庄内川本川等の洪水の安全な流下に寄与する「土砂・洪水氾濫対策」としての砂防堰堤の改築
- 物流・避難経路の安全確保に寄与する「土砂災害対策」として、事前防災のための防災教育（砂防教室）及び自治体と連携した訓練を実施 さらに地域と協働した森林整備を実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・砂防関係施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一の洞第2砂防堰堤の改築を実施。  	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、砂防施設の整備を進める
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成支援) ・関係機関との連携強化 (多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会) ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 砂防教室の実施  ● 大規模土砂災害合同防災訓練  <small>R4:土岐市にはオブザーバーとして出席いただいた R5:土岐市で開催(予定)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防教室の継続的な実施 ・大規模土砂災害発生を想定した訓練の実施
<p>【グリーンインフラの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全に関する協議会等の活動 (土岐川流域グリーンベルト、里山砂防) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土岐川流域グリーンベルト事業  	<ul style="list-style-type: none"> ・土岐川流域グリーンベルト事業の継続